



人気サロンのスタイリスト3人に聞く「2021年の春おすすめの色レシピ」

Mar 11.2021

毎年、新しいトレンドが生まれ続ける美容の世界。今回は、人気サロンの美容師さん3人が考える、2021年の春にくる「カラートレンド予測」と、トレンドを取り入れた最新のスタイルをお伺いしました。さらに、スタイルのカラーレシピとポイントも大公開します！

「色持ちの良さ」と「退色のきれいさ」が基本に！ 客単価グループ1位の美容師が注目する春カラーとは？ ——AFLOAT NAGOYA 大川弘輝さん

Profile



大川弘輝 Hiroki Okawa
AFLOAT NAGOYA チーフ

愛知県出身。2015年名古屋美容専門学校卒業後、AFLOAT NAGOYA入社。デビュー後1年でチーフに就任し、その半年後に売上250万円達成。小顔前髪カットを得意とし、さらに豊富な知識と高いカウンセリング技術で、客単価アフロートグループ全体で1位を獲得中。

Instagram : [@hiroki_okawa](https://www.instagram.com/hiroki_okawa)

■ トレンド予測 | 柔らかさのあるベージュ系に色みをプラス。コロナ禍で来店頻度を少なくしても「きれい」が保てるカラーが注目

コロナ禍で来店頻度が減っている中、より退色しづらく、退色後も色みがきれいに残りやすいベージュ系のカラーの需要が2020年から高まっています。実際のサロンワークでも、ベージュ系のカラーは「色持ちが良い」「色が抜けてもギラギラしない」と好評です。

中でも春におすすめなのが、柔らかさのあるベージュを基本に、濃く残りすぎない程度にほんのりピンクやラベンダーの色みをプラスしたカラー。ピンクやラベンダーは毎春人気で、肌なじみも良く、暖かくなってくる季節に合わせて気分を上げたいとオーダーも増えてくると見えています。

一方、グレー系やラベンダー系の艶感が強いダークトーンも注目です。こちらもポイントは色持ちの良さ。韓国の女優やアイドルに多い、巻いた髪に櫛を通して艶を出すスタイルが幅広い年代に浸透してきていることもあり、定期的なメンテナンスが必要なハイトーンよりも、色落ちしづらいダークトーンで艶髪を再現する方が増えてくると見えます。

■ くびれたデザインも艶と柔らかな色みで重くならない！ ラベンダーニュアンスのベージュ系スタイル



■ レシピ

新生部 8キャットミント：8アクア=1：1
1剤：2剤=1：1（OX6%：OX2.8%=1：1）

既染部 10キャットミント：10ティア=3：1
1剤：2剤=1：1（OX2.8%）

すべてカラーストーリー アドミオ

※比率は組み合わせ比

※1剤：2剤は混合比

ベージュニュアンスにピンク寄りのラベンダーみをプラスした、艶があり柔らかな印象のカラー。淡いピンクみのあるラベンダーで艶感があるキャットミントを軸に、新生部にはアクア、赤みの少ない既染部にはまるやかなアッシュ系のティアを組み合わせ、柔らかな色みにしています。肌なじみも良く、どんな色のメイクやファッションにも合わせやすいカラーです。

カットだけだと毛先が重くなりがちな韓国風のくびれたスタイルでも、色みで艶と柔らかさを表現することで重い印象にならず、トレンド感あるデザインになります。シンプルな服装はもちろん、細かなインナーを重ねたファッションや肩出しのニットなど、昨年から流行りつつある少し凝った空気感のあるファッションと合わせると、より柔らかな雰囲気になりますよ。

注目キーワードは「#ベージュ族」。赤みのない柔らか透明感カラーが人気に —SIX. MAYAさん

Profile



MAYA MAYA
SIX. スタイリスト

千葉県出身。山野美容専門学校卒業後、都内1店舗を経て、2018年にSIX.入社。一人ひとりに合わせた繊細な顔まわりのカットと、外国人風の柔らかなカラーに定評がある。横顔まで可愛いバングデザイン、巻いても巻かなくてもオシャレになる毛先の揃った「ぶつっとカット」、まろやかなベージュカラーが得意。

Instagram : [@six_mayashoji](https://www.instagram.com/six_mayashoji)

■ トренд予測 | 服装の邪魔をしない、明るめのベージュ系がトレンド

春に向けて、明るめで柔らかい印象に見えるカラーが人気になると見えています。中でも注目しているのが、ブラウン系・ベージュ系で赤みがなく透明感が出るカラーです。

2020年ごろから、ファッションではベージュ系のカラーが流行っており、SNSには「#ベージュ族」といったハッシュタグも登場しています。それに合わせ、ヘアカラーでも服装の邪魔をせずどんなファッションにも合うベージュ寄りのブラウン系の色みの需要が高まっており、SNSでの投稿も増えています。

また、サロンワークでもここ数年のアッシュ・グレイ系人気から変化し、「赤みを消したい」という声が増えています。ブリーチの有無に関わらず「柔らかく透明感ある雰囲気になりたい」という要望が多いので、明るめのベージュ系の人気はますます大きくなると思います。

■ 赤みも黄色みもしっかり抑えた、透明感あるナチュラルなベージュスタイル



■ レシピ

全頭

8シーケイブ：8シエナ：8アマランス=2:1:1
1剤：2剤=1:1（OX2.8%）

すべてカラーストーリー アドミオ

※比率は組み合わせ比

※1剤：2剤は混合比

柔らかさの感じられる、女性らしいベージュスタイル。トレンドのベージュ系の服装はもちろん、どんなファッションにも合わせやすいカラーです。しっかり透明感と柔らかさを表現することで、一般的なベージュと差をつけながらも奇抜すぎず、ナチュラルな印象を作りました。

シーケイブの深いネイビーで赤みをしっかり抑え、シエナのまろかなブラウンを組み合わせることでネイビーに寄りすぎないようにしています。さらに、アマランスを組み合わせせてアンダーの黄色みを抑え、退色時にも黄色みが出過ぎないように調整。赤みと黄色みをどちらも抑えることで、透明感と柔らかさを表現する色みにしています。カラー剤は新生部から塗布していき、ダメージのある毛先は時間差をつけて塗布することで、ワンメイクに仕上げました。

パッと明るく温かみのあるカラーに注目。ヘアカラーから春らしく前向きな気分を作る——COME G HEAD 岩本陽介さん

Profile



岩本陽介 Yosuke Iwamoto
COME G HEAD オーナースタイリスト

熊本県出身。熊本ベルエベル美容専門学校卒業。2007年、“ONLY ONE ONLY FOR YOU”をコンセプトにCOME G HEADけやき通り店をオープン。「美容を通してお客様に必要とされる存在であること」を信条に一人ひとりのパーソナルを引き出すスタイル提案をし、中でもショートカットには特にこだわりを持つ。また、コンテストでも数々の受賞歴あり。顧客からの指示も高く、撮影やSNS戦略も得意とする。2020年、熊本中心地に2店舗目である上乃裏店をオープン。

Instagram : [@iwamotoyosuke](https://www.instagram.com/iwamotoyosuke)

■トレンド予測 | ハイトーンなら淡いオレンジやグリーン、くすみ系ならマットベージュがおすすめ

この春は、パッと明るく元気になるカラーを推しています。ハイトーンなら、オレンジなどのビタミンカラー。ただのオレンジだと日本人の肌色にはキツイ印象になるので、淡いパールオレンジやオレンジベージュがおすすめです。また、ここ数年流行していた寒色系のスッキリした雰囲気表現しながら、より明るさと温かさのある淡いグリーンも注目。2020年あたりからSNSでも多く見られるカラーになってきています。特に黄緑に近い淡い色合いは、新緑のような若々しさや瑞々しさから新しい時代の始まりが連想されるので、春にピッタリだと思います。

ハイトーン以外ではくすんだ色みも引き続き人気ですが、くすみ系の中でもマットベージュなどより温かみを感じる暖色系がおすすめです。マスクをつけていると顔に影ができたり、チークが見えなかったりと顔色が暗く見えがちなので、お客様からも明るく血色も良く見えやすい暖色系の希望が増えてきていると感じています。

どちらも、単にトレンドの予測というだけではなく、今のコロナ禍で暗い話題や不安もある世の中だからこそ、美容師としてこういった温かさや元気さを感じられるカラーを提案していきたいという想いが強いです。髪は毎日鏡で見るもの。そういった目に入るものから明るい雰囲気を溢れさせていくことで、世の中を少しでも変えていけたらいいなと思っています。

(取材・文/A PRESS編集部)

ARMINO